

世界へ挑んだ、日本の名車

—— 日本の技術と情熱が生んだ、2000GT ——

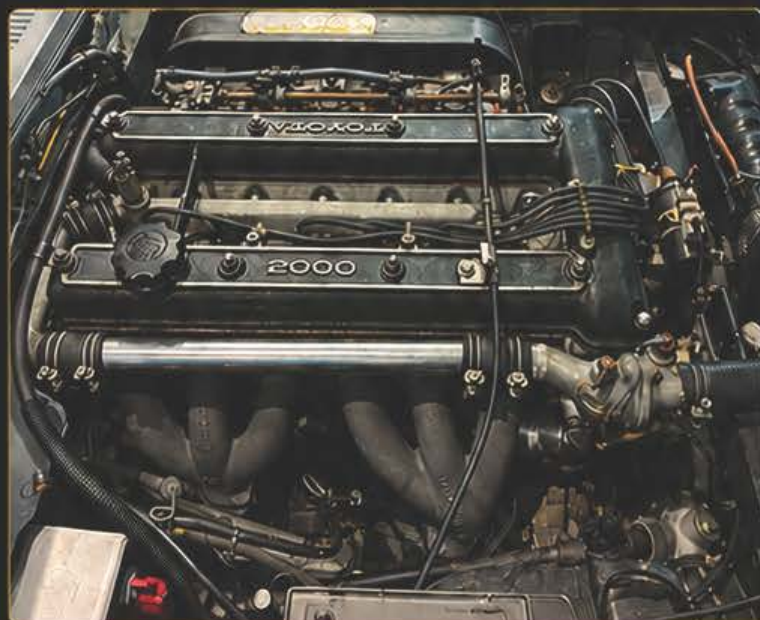
1960年代、トヨタは
世界に通用するスポーツカーの
製作を目指しました。

流麗なデザインと高性能エンジンを
備えた2000GTは、
日本車の技術力を世界へ示した
一台です。



展示車両は総生産337台のうち、わずか15台※のみとされる
希少なオートマチック車です。

※一般販売台数

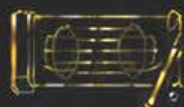


ヤマハと共に 開発した高性能エンジン

共同開発で誕生した
直列6気筒DOHCエンジン(3M型)。
最高出力150PSを発揮し、
滑らかな回転フィールと
高い耐久性を実現しました。
2000GTを支えた
日本を代表する名機です。

年表

1965



試作車完成

1965年10月



東京モーターショー
参考出品

1967



市販開始

1969



オートマチック車登場

1970



生産終了

現在



世界最高峰の
コレクターズカー

TOYOTA 2000GT

展示車両詳細

SPECIFICATIONS

年式	1970年	エンジン	直列6気筒DOHC(3M型)
全長×全幅×全高	4,175×1,600×1,170mm	総排気量	1,988cc
ホイールベース	2,330mm	最高出力	150PS / 6,600rpm
車両重量	1,140kg	最大トルク	18.0kg・m / 5,000rpm
最高速度	195km/h	トランスミッション	3速オートマチック

展示車両の特徴

① トヨグライド搭載



北米市場を見据え採用されたAT。ゆとりあるグランドツーリングを支える装備です。

② 小型フォグランプ



後期型では小型フォグランプを採用。洗練されたフロントマスクとなり、スポーティな印象を高めました。

③ インストルメントパネル



専用の木目パネルやメーターを採用。上質なGTカーらしいコックピットを演出しています。

④ 木製ステアリング



上質な木製リムのステアリングを採用。手に馴染む感触が、ドライビングの愉しさと高級感を高めます。

⑤ ヘッドレスト



後期型ではヘッドレストを標準装備。長距離ドライブでの疲労を軽減し、より快適な乗り心地を実現します。

⑥ クーラー



展示車両はクーラーを装備。室内環境を快適に保ち、季節問わず上質なドライブを楽しめます。